

登録区分：	地域DMO（単一市区町村）
法人名：	一般社団法人小樽観光協会
マネジメント区域：	北海道小樽市

申請様式ver2.0
(形成・確立計画)

財源計画

初回記入日：	2026年	6月	25日
最終更新日：	2026年	7月	22日
観光地経営戦略の対象期間：	2028年	～	策定中
自治体の観光計画画の対象期間：	2017年	～	2026年

1. 収入（財源内訳）と安定財源確保率とその目標

法人全体の収入を記載してください。
※安定財源確保率は自動で計算されます。

【単位：千円】

【単位：千円】		実績			見込み				
		前々々期	前々期	前期	1期目	2期目	3期目	4期目	5期目
		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度
収入総額		466,437	614,817	0	0	0	0	0	0
内 訳	うち安定財源総額	378,186	503,727	0	0	0	0	0	0
	特定財源	地方税（宿泊税、入湯税等）	60,000						
		受益者（観光事業者等）の負担金・分担金	20,642	18,575					
		寄付金・協力金							
		その他（XXX）							
	受託事業	道の駅等の指定管理収入							
		その他受託事業収入	10,613	11,502					
	行政の交付金・負担金等	都道府県補助金・交付金							
		都道府県負担金							
		市町村補助金・交付金							
		市町村負担金							
	会費		10,363	11,565					
	DMOに対する寄付金								
	収益事業		336,568	402,085					
	その他財源総額		88,251	111,090	0	0	0	0	0
	行政からの交付金・負担金等	国補助金・交付金	15,300	3,667					
		都道府県補助金・交付金	705	10,000					
		都道府県負担金							
		市町村補助金・交付金	69,662	83,710					
		市町村負担金							
	その他（雑収入）		2,584	13,713					
安定財源率		81.1%	81.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

2. 支出

法人全体の支出を記載してください。

【単位：千円】

【単位：千円】		実績			見込み				
		前々々期	前々期	前期	1期目	2期目	3期目	4期目	5期目
		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度
支出総額		486,053	615,732	0	0	0	0	0	0
内 訳	事業費総額	65,569	109,806	0	0	0	0	0	0
	ターゲットに対するマーケティング	9,242	30,543						
	マネジメント区域における受入環境整備	2,450	3,550						
	顧客管理	117	3,000						
	観光による受益を広く地域に行き渡らせる取組	39,197	62,098						
	その他	14,563	10,615						
	一般管理費	420,484	505,926	0	0	0	0	0	0
	人件費	125,035	154,749						
	その他	295,449	351,177						

3. 安定財源確保率目標達成に向けた課題と取組方針

(1) 安定財源確保に向けた現状と課題

①当法人は、小樽市が進めている小樽港第3号ふ頭基部の再開発事業に連動し、再開発エリアに整備された小樽国際インフォメーションセンター内の物販店「ポートマルシェIotarue」を令和6年3月にオープンし、観光客へのサービス向上も含めて、法人の安定的な収益確保も目指して事業を進めている。2年連続して3億円を超える売上額は確保できたものの、初年度の令和6(2024)年度は初期投資が大きく、また、2年目の令和7(2025)年度は、増加を期待したものの、当エリアが再開発事業が進められている中、施設前面が工事エリアとなり、想定する来場者数の増加が実現できずに比例して売上額増加が実現しなかった。

②小樽市において、令和8(2026)年度から宿泊税の課税が開始され、その使途事業として、これまでの当法人への補助金事業の統合や見直しも含めて、「地域DMO交付金」として、主に“戦略的なプロモーション・魅力づくり”を目的とする事業や“経営戦略策定、データ・マーケティング”事業に大きく増額され、行政からの安定財源としての支援の安定化が促進された。

(2) 目標達成に向けた取組

①2年目の利用増に対する障壁であった再開発事業が大きく進捗し、完成まで1年を残すものの、当施設前面が工事が完了し、令和8(2026)年度4月から基部公園が「おたるポートスクエア」としてオープンし、再開発事業の基部エリアが面的に利用されることとなり、目的としている賑わいづくりの姿が実現しつつあり、当施設の来場者の増加とともに売上増かの効果が表れ継続しており、売上増加が確実に期待できる状況にある。

②小樽市の宿泊税に対する使途事業としての当法人への「地域DMO交付金」の継続は確認されており、その宿泊税の増加に向けては、本地域における新たな宿泊施設の建設が行われているほか、計画されているものもあり、施設の増加に連動して宿泊客と比例した宿泊税の増加が見込まれている。

4. 安定的な運営資金の確保の見通し

安定財源の費目ごとに調整先と調整内容（見通し）を具体的に記入してください。

安定財源費目	調整先	具体的な調整内容
宿泊税	小樽市	・上記（1）に記載のとおり、宿泊税の課税開始と、その使途事業としての行政からの「地域DMO交付金」支援が、令和8(2026)年度から開始された。
収益事業	当法人	・上記（1）に記載のとおり、令和8(2026)年度からの収益増加
会費	当法人	・令和7(2025)年度から新たな事業計画として、会員増加への取組みを強化しており、令和8(2026)年度も継続して取組む事業計画である。